

令和5年度

事業計画書

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月 31日

I 一般概要

(令和4年度の景況と令和5年度の見通し)

我が国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いている。その一方で、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引締め等による世界的な景気後退懸念など、我が国経済を取り巻く環境には厳しさが増している。

政府は、我が国経済を民需主導の持続的な成長経路に乗せていくため、「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を策定し、その裏付けとなる令和4年度第2次補正予算等を迅速かつ着実に実行して万全の経済財政運営を行うこととしている。

こうした下で、令和4年度の実質国内総生産（実質GDP）成長率は1.7%程度、国民の景気実感に近い名目国内総生産（名目GDP）成長率は1.8%程度となることが見込まれている。消費者物価（総合）については、エネルギーや食料価格の上昇に伴い、3.0%程度の上昇率になると見込まれている。

令和4年次の新設住宅着工戸数は、持家は前年比11.3%減と昨年の増加から再びの減少、貸家は前年比7.4%増と2年連続の増加、分譲住宅は前年比4.7%増と2年連続の増加、と全体で前年比0.4%増の85.9万戸となり、2年連続の増加となった。

令和5年度の経済見通しについては、物価高を克服しつつ、新しい資本主義の旗印の下、民需主導で持続可能な成長経路に乗せるための施策の推進を通じ、実質GDP成長率は1.5%程度、名目GDP成長率は2.1%程度と民間需要がけん引する成長が見込まれている。消費者物価（総合）については、各種政策の効果等もあり、1.7%程度の上昇率になると見込まれている。ただし、引き続き、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスク、物価上昇や供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある

令和5年度の民間住宅投資については、総合経済対策による省エネ支援策など各種政策の効果を通じ、増加する（対前年度比1.1%程度の増）と見込まれている。

(令和5年度の本会の業務運営)

令和5年度においては、上記の経済環境や木材産業を取り巻く景況等を踏まえ、次の事項に重点を置き円滑かつ効率的に事業を実施していく。

- ① 公益性の発揮を推進するため、公益目的事業であるJAS事業の普及と業務量の受注に努める。
- ② 安定的な収入の確保を図るため、収益事業である受託事業の一層の拡大を図る。
- ③ 業務の円滑かつ効率的な推進を図るため、業務の改善や職員間の業務連携の強化に努める。
- ④ 職員研修の実施、関係資格の取得等マンパワーの充実に努める。
- ⑤ クリーンウッド法に基づく登録実施機関として、木材関連事業者の登録事務を推進する。

II 事業別計画

1 JAS 事業

認証計画は、新規申請として 17 工場を見込んでいる。これらの認証申請工場及び既認証工場の変更申請に伴う審査、製品検査については、申請の内容を勘案して件数金額を設定した。認証工場の監査等に伴う収入は、認証工場数を基にした計画とした。

また、格付のための検査は、前年実績比の件数で 94%、金額で 99%の計画とした。

(1) 新規工場の認証

区分	令和 5 年度計画 件数	令和 4 年度計画 件数
普通合板	2 (2)	2 (2)
天然木化粧合板	1 (0)	0 (0)
単層フローリング	0 (0)	0 (0)
複合フローリング	0 (0)	0 (0)
集成材	7 (2)	3 (1)
単板積層材	1 (1)	1 (1)
構造用パネル	1 (1)	0 (0)
枠組壁工法構造用たて継ぎ材	0 (0)	1 (0)
直交集成板	2 (0)	1 (0)
接着たて継ぎ材	3 (0)	2 (0)
合計	17 (6)	10 (4)

注 1) 普通合板にはコンクリート型枠用合板及び構造用合板を含む。以下同じ。

注 2) 天然木化粧合板には特殊加工化粧合板を含む。以下同じ。

注 3) ()は海外工場数 (内数)。

(2) 認証審査に伴う製品検査

区分	令和 5 年度計画 件数	令和 4 年度計画 件数
普通合板	3	19
天然木化粧合板	3	2
単層フローリング	0	0
複合フローリング	6	12
集成材	49	33
単板積層材	6	6
構造用パネル	3	0
枠組壁工法構造用たて継ぎ材	4	5
直交集成板	9	12
接着たて継ぎ材	6	6
合計	89	95

(3) 認証工場の監査

区分	令和5年度計画 件数 (A)	令和4年度計画 件数 (B)	対前年度比 (A)/(B)
普通合板	64	65	98%
天然木化粧合板	71	72	99%
単層フローリング	12	13	92%
複合フローリング	43	43	100%
集成材	158	162	98%
単板積層材	23	22	105%
構造用パネル	1	1	100%
枠組壁工法構造用たて継ぎ材	10	8	125%
直交集成板	10	10	100%
接着たて継材	4	1	400%
合計	396	397	100%

(4) JAS 認証審査委員会

新規認証申請に合わせ随時開催予定。

(5) 講習・研修会

認証の技術的基準に基づき、下記の講習・研修を行う。

- ・品質管理責任者講習会
- ・製品の板面の品質検査担当者選別研修会
- ・格付担当者格付講習会
- ・格付検査担当者技能研修会
- ・格付検査担当者技能研修会 (材面のみ)
- ・格付責任者格付講習会

受講人数

区分	令和5年度計画 人数 (A)	令和4年度計画 人数 (B)	対前年度比 (A)/(B)
合板	203	159	128%
フローリング	51	48	106%
集成材	183	190	96%
単板積層材	24	25	96%
構造用パネル	0	0	—
枠組壁工法構造用たて継ぎ材	11	6	183%
直交集成板	8	8	100%
接着たて継ぎ材	5	9	56%
合計	485	445	109%

(6) 認証業務収入

単位：千円

区分		令和5年度 計画(A)	令和4年度 計画(B)	対前年度比 (A)/(B)
認 証 等 手 数 料	普 通 合 板	20,560	22,480	91%
	天 然 木 化 粧 合 板	20,707	20,680	100%
	単 層 フ ロ ー リ ン グ	3,798	4,120	92%
	複 合 フ ロ ー リ ン グ	12,609	12,950	97%
	集 成 材	53,011	52,450	101%
	単 板 積 層 材	7,027	6,760	104%
	構 造 用 パ ネ ル	468	280	167%
	枠組壁工法構造用たて継ぎ材	3,202	3,140	102%
	直 交 集 成 板	3,565	3,430	104%
	接 着 た て 継 ぎ 材	2,286	1,350	169%
	小 計	127,233	127,640	100%
そ の 他 手 数 料	製 品 検 査 料	8,788	7,470	118%
	出 張 手 数 料	14,866	16,780	89%
	講 習 ・ 研 修 会 手 数 料	7,936	7,660	104%
	証 明 手 数 料	2	0	—
	小 計	31,592	31,910	99%
合 計	158,825	159,550	100%	

注) 認証等手数料とは審査料、監査料、認証料、認証登録料、比較検査料のことである

(7) 検査

検査件数

区分	令和5年度計画 件数(A)	令和4年度計画 件数(B)	対前年度比 (A)/(B)
普通合板	1,067	1,220	87%
天然木化粧合板	745	790	94%
単層フローリング	150	180	83%
複合フローリング	943	990	95%
集成材	933	950	98%
単板積層材	237	220	108%
構造用パネル	8	0	—
枠組壁工法構造用たて継ぎ材	36	40	90%
直交集成板	77	70	110%
接着たて継ぎ材	17	20	85%
合計	4,213	4,480	94%

検査収入

単位：千円

区分		令和5年度 計画(A)	令和4年度 計画(B)	対前年度比 (A)/(B)
受託検査 手数料	普通合板	70,184	76,600	92%
	天然木化粧合板	32,093	33,120	97%
	単層フローリング	6,230	7,600	82%
	複合フローリング	30,628	31,700	97%
	集成材	121,952	122,410	100%
	単板積層材	19,886	18,720	106%
	構造用パネル	1,340	740	181%
	枠組壁工法構造用たて継ぎ材	3,476	3,300	105%
	直交集成板	6,417	5,850	110%
	接着たて継ぎ材	1,123	1,220	92%
	小計	293,329	301,260	97%
その他料	出張手数料	27,163	32,900	83%
	検査証明料	248	240	103%
	小計	27,411	33,140	83%
合計	320,740	334,400	99%	

2 受託事業

ホルムアルデヒド放散量試験等に係る受託は、件数及びその収入共に約5%減の計画とした。

また、優良木質建材等認証事業（AQ事業）に係わる受託は、次年度は受託の件数で100%、収入で84%の計画とした。

(1) 受託試験

区分	令和5年度 計画(A)	令和4年度 計画(B)	対前年度比 (A)/(B)
受託件数	4,626件	4,860件	95%
受託収入	116,034千円	121,220千円	96%

(2) 優良木質建材等認証事業（AQ事業）

区分	令和5年度 計画(A)	令和4年度 計画(B)	対前年度比 (A)/(B)
受託件数	24件	24件	100%
受託収入	2,923千円	3,460千円	84%

3 クリーンウッド法登録事業

クリーンウッド法登録事業においては、制度の周知は進んでいるものの、登録までつながっていないことから、問合せの件数等を勘案して、計画を策定した。

(1) 新規登録

区分	令和5年度 計画(A)	令和4年度 計画(B)	対前年度比 (A)/(B)
新規登録件数	10件	6件	167%
新規登録収入	420千円	200千円	210%

注) 登録事項変更は新規登録に含む。

(2) 年会費（1年毎の会費手数料）

区分	令和5年度 計画(A)	令和4年度 計画(B)	対前年度比 (A)/(B)
会費件数	282件	279件	101%
会費収入	3,100千円	3,070千円	101%

(3) 登録更新（5年毎の更新手数料）

区分	令和5年度 計画(A)	令和4年度 計画(B)	対前年度比 (A)/(B)
更新件数	63件	23件	274%
更新収入	760千円	280千円	271%

4 調査研究事業

- (1) 集成材及び単板積層材等の強度性能推定に関する共同研究
- (2) 関連団体主催の研究調査事業委員会への参加並びに協力
- (3) 各検査所で保有する計測機器類の性能・精度を維持するための支援活動
- (4) JAS 規格の制定、見直しの原案作成委員会等に対する協力
- (5) 本会が認証した製造工場の JAS 格付数量を収集し、検査統計等を作成する

5 普及宣伝事業

関連団体との連携を図り、一般消費者、流通、設計、施工業者等を対象に JAS の普及啓発に努める。

- (1) 木質建材に関する展示会等への参加
- (2) 業界新聞社への情報提供
- (3) 検査会だよりの発行
- (4) JAS 認証工場名簿の作成
- (5) ホームページ等による情報公開等
- (6) JAS 制度及びクリーンウッド法の講習会等の講師派遣
- (7) クリーンウッド法促進事業への協力

6 研修事業

認証審査・監査及び検査業務等の資質向上のため、職員の研修を実施する。

III その他

1 マネージメントレビュー

- (1) 内部監査の実施
- (2) マネージメントレビュー実施規定に定めるマネージメントレビュー会議の開催

2 公平性委員会の開催

- (1) 認証業務規程に定める公平性委員会の開催

3 定期的調査等

- (1) 監事監査
- (2) 登録認証機関の定期的調査

IV 総務関係

1 会議等開催計画表

会議の名称	開催予定回数	開催場所
理 事 会	2	東京都
評 議 員 会	1	〃
所 長 会 議	5	〃
担 当 者 会 議	1	〃

2 試験機等

(1) 購入の計画 (主要機器)

機 器 名	数 量	備 考
—	—	—

(2) 校正等の計画

機 器 名	数 量
引張り試験機	10
曲げ試験機	21
分光光度計	0
ガスクロマトグラフ	0
高速液体クロマトグラフ	1
原子吸光光度計	0
減圧加圧装置	1

3 人員構成

事業所別人員構成表 (令和5年度計画)

単位：人

区 分	常勤役員	技術職員	事務職員	計
本 部	3 (2)	7 (7)		10 (9)
研 究 室		1 (1)		1 (1)
北 海 道 検 査 所		3 (3)	1	4 (3)
東 北 検 査 所		5 (5)	1	6 (5)
東 京 検 査 所		5 (5)	1	6 (4)
名 古 屋 検 査 所		5 (4)	1	6 (4)
大 阪 検 査 所		5 (5)	1	6 (5)
中 国 検 査 所		3 (3)	1	4 (3)
九 州 検 査 所		4 (4)	1	5 (4)
計 R5.4.1 現在 (A)	3 (2)	38 (37)	7	48 (39)
R4.4.1 現在 (B)	3	41	8	52
増減 (A) - (B)	0	-3	-1	-4

注1) () は JAS 認証業務の資格を有する者 (内数)